

岡山県

NO.49
2014.1





環境を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のためにリサイクルの推進を行ってまいります。

未来に翔く



倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

ISO14001
認証取得



JQA-EM5372

- ・本社：岡山県倉敷市中央 1-6-24 ☎(086)424-6429
- ・弥高山事業所：倉敷市玉島服部 3318-2 ☎(086)525-8515
- ・黒石事業所：倉敷市黒石 1052 ☎(086)426-1379
- ・大平山リサイクルセンター：倉敷市連島町西之浦 4566-1 ☎(086)448-8224

産業廃棄物中間処理

最終処分(安定型・管理型)

がれき類(コンクリートくず、アスファルトくず、瓦くず等)、廃プラ、木くず、紙くず、繊維くず、建設汚泥、廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず 等



再資源化施設
(コンクリートくず・アスファルトくず)



再資源化施設
(木くず)



固形燃料施設
(廃プラ・木くず・紙くず)

岡山県エコ製品(再生碎石、再生砂、改良土)、
木材チップ(燃料用、原料用)、固形燃料(RPF)の販売



中央建設(株)

総合建設業/建物解体工事業

本社 ☎(086) 424-6429

本店 ☎(086) 284-5118

(株)トヨ商事

倉敷市長許可第 10040030706号

本社 ☎(086) 424-6429

黒石 ☎(086) 426-1379

◆年頭にあたって◆

産業界が一体となって3Rの促進を	一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会	会長 岡本 靖磨	呂 2
「安心できる社会づくり」の担い手として	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会	会長 石井 邦夫	3
より一層の連携の契機に	岡山県環境文化部長	豊田 ひとみ	4
循環型社会の構築へ	岡山市環境局長	甲斐 充	5
～環境負荷の少ないまちを目指して～	倉敷市環境リサイクル局	局長 塩尻 康文	6

◆行政ニュース◆

優良産廃処理業者認定制度について	7
産業廃棄物運搬車両の路上検査について	8
電子マニフェストの普及について	9
PCB廃棄物の適正処理について	10

◆協会だより◆

鹿児島島の優良施設訪問	14
平成25年度第2回中国地域協議会開催	15
平成25年度事業優良施設視察日帰り研修に参加して	16
第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加して	17

〈世界見聞録32〉 秘島・西表に棲む希少種・天然記念物 倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎 18

◆支部ニュース◆

〈岡山西支部〉 金甲山クリーン作戦	22
〈東備支部〉 環境クリーン作戦『じえじえじえ回収作戦』	23
〈井笠支部〉 第16回井笠地域環境クリーン作戦実施	24
〈津山支部〉 第19回津山地区環境クリーン作戦	25
〈倉敷支部〉 第20回倉敷地域クリーン作戦	26
(一社) 岡山県産業廃棄物協会趣味の会ゴルフ大会	27
「作ることの喜び」を感じたくて (趣味のコーナー)	28

◆青年部会のページ◆

青年部会クリーン作戦&環境学習in倉敷マスカットスタジアム	29
-------------------------------	----

◆事務局だより◆

協会への入会勧誘のお願い	31
表紙カラーガイド／編集後記	32

産業界が一体となって3Rの促進を

一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

当協会の事業活動等の運営にあたりまして、会員の皆様をはじめ、行政機関や関係団体の方々には格別のご支援とご理解、ご協力を賜りますこと厚くお礼申し上げますと共に本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ますと、平成5年6月に設立されました社団法人岡山県産業廃棄物協会の20周年の節目の年でありました。5月23日に、たくさんのご来賓のご臨席の下、記念式典・記念講演・祝賀会を盛大に開催することができましたこと、関係の皆様や会員の方々のおかげ様と深く感謝いたしております。

時同じく、日本経済においては、アベノミクスにより明るい兆しが見えてきたかのようですが、当業界に携わっております私ども一人ひとりの思いはいかがでしょうか。

2020年に東京で開催されることが決定した夏季オリンピックが起爆剤にとの思いがある一方で、今年4月には消費税が8%に上がることなどから、経済対策の更なる実施で景気の波及効果を切に期待するものですが、依然先行き不透明で予断を許さない状況が続くものと思っています。

そのような中であっても、循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全を両立させたライフスタイルへの転換、環境に配慮した事業活動の展開等で、環境と経済が好循環する持続可能な循環型社会の実現が求められています。

また、日本の社会構造は、人口減少や少子高齢化が進み、今後、経済活動や廃棄物の発生量にも影響を与えると考えられますが、物質フロー全体を見ると、新たに投入される天然資源の量は減少し、循環利用される物質の量は増加し、省資源型への移行が進みつつあると言われてしています。

私たち産業廃棄物処理業界におきましては、従来型の廃棄物処理のみならず、廃棄物を貴重な資源として捉え、環境に配慮しながらそこから有用資源を積極的に回収し、循環利用していくことが求められています。

具体的には、適正処理は勿論のこと、再生品等の品質や信頼性を向上させながら、動脈産業と廃棄物・リサイクル産業が一体となって3Rに取り組む必要があるのではないかと考えています。

当協会においては、適正処理・リサイクルの一層の推進や優良化の促進等を図るため、「優良産業廃棄物処理業者育成講習会」、「産業廃棄物処理業実務担当者講習会」、「電子マニフェスト研修会及び操作説明会」等を開催しています。

また、社会貢献事業の一環として各支部会員が主体となって地域住民や地元行政機関と協力しながらの「クリーン作戦」、青年部会主催の「環境学習」等も実施しているところです。

本年も、良好な環境保全の推進と循環型社会の更なる構築を目指し、地域に益々貢献できる団体として会員皆様と共に活動してまいりたいと存じます。

終わりにになりましたが、会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

「安心できる社会づくり」の担い手として

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国民の景気回復に対する期待感が高まり経済分野でようやく明るい兆しが見え始めた半面、風水害等の自然災害が猛威をふるい各地に多大な被害をもたらした一年でございました。

これから更なる景気回復を本格軌道に乗せるためには、有効な成長戦略の実行が不可欠であることは当然として、将来にわたり安心して国民が生活でき、企業が事業展開を活発に行っていける社会、いわば「安心できる社会」の構築が急務でございます。

特に近年頻発する地震・風水害等の自然災害は、国民生活や企業活動にとって深刻な不安材料となっています。このため国は、昨年10月に「巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会」を設置し、南海トラフ地震及び首都直下地震等の巨大地震の発生時における対策の検討に着手されております。申し上げるまでもなく、産廃処理業は廃棄物処理のプロフェッショナル集団でございます。災害発生時はもとより、防災を含めた対策全体の中においてこのプロ集団の能力・経験を効果的にご活用いただき、少しでもわが国の災害対策の進展にお役に立つことができればというのがわれわれの願いでございます。

また、「安心できる社会づくり」には、地域の生活環境や経済を脅かす不法投棄・不適正処理の撲滅とともに、今後はより優良な業者が活躍できる環境の整備が重要と考えております。この環境整備の一環として、国は環境配慮契約法に基づく産廃処理契約を施行されており、この契約の実施が国のみならず都道府県そして市町村に普及していくことを大いに期待しているところでございます。

更に、「安心できる社会づくり」は、わが国だけの課題ではございません。例えば成長と人口増加を続けるアジア等では、リサイクルできる資源が有効に回収・活用されておらず、廃棄物の処理においても問題がないとは言えない現状にあります。国は「循環産業海外展開事業」を進めておられますが、アジア等における「安心できる社会づくり」に貢献するためにも、海外展開を行う事業者における事業リスクの低減に資する施策を強く展開されますようお願い致します。

このほかにも産廃処理業を取り巻く制度的及び技術的な課題が山積しております。なかでも、先の廃棄物処理法改正の点検、来たる法改正への準備、地球温暖化問題への対応、これらについても「安心できる社会づくり」の観点から、産廃処理業の更なる発展を実現するために取り組み、将来ビジョン、つまり事業の高度化、優良業者のネットワーク化、協同組合化、そして先述のような国際化の推進についての議論等を進めていくことが重要と考えております。

当連合会は、これらの諸課題に取り組み、貴協会とともにわが国の循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展に向け、一層の貢献を果たして参りたいと考えております。

本年も皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。最後になりますが、この一年が皆様にとりまして、すばらしい年でありますようお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

以上

より一層の連携の契機に

岡山県環境文化部長 豊田 ひとみ



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会は、設立以来これまで、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進等の各種普及啓発、不法投棄物撤去事業や環境学習など環境保全に配慮した

事業など幅広く取り組まれており、深く敬意を表しますとともに、昨年は協会設立20周年を迎えられ、5月に記念式典等が盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。また、記念式典の際には、地域の社会貢献記念事業の一環として県へ車いすを御寄贈いただくなどの温かい御支援もいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、我が国では東日本大震災に伴う原子力発電所事故を契機としたエネルギー使用に対する意識の高まりや、近年の異常気象の原因の1つとされる地球温暖化対策への取組など、温暖化防止や循環型社会の形成をはじめとした環境問題への社会的な関心は非常に高く、国民共通の課題といっても過言ではありません。

こういった中、廃棄物に関しましては、国においては廃棄物処理法等の改正が順次行われ、排出事業者責任の強化や処理業者の優良化など産業廃棄物の適正処理の推進とともに、熱回収施設の認定制度を創設するなど循環型社会と低炭素型社会の統合的な推進も図られてきています。

県におきましても、先月策定されました「晴れの国おかやま生き生きプラン」の重点戦略「安心して豊かさが実感できる地域の創造」に向け、「循環を基調とした廃棄物再生・処理システムの構築」と「廃棄物の削減による環境への負荷の低減」を基本理念として策定した「第3次岡山県廃棄物処理計画」に基づき、法令遵守など排出事業者責任のさらなる周知・徹底と、電子マニフェストの普及促進など適正処理に向けた取組を進めるとともに、廃棄物の排出抑制やリサイクル率の向上を図ってまいりたいと考えております。

これらの施策を推進し、循環型社会の形成をさらに図っていくためには、環境に配慮したライフスタイルの実践など県民一人ひとりの取組とともに、豊富な経験や人材を有する岡山県産業廃棄物協会と会員皆様方の御協力が不可欠でありまして、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、協会設立20周年の節目を契機として、関係の皆様方の連携がより一層深まりますとともに、貴協会と会員皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

循環型社会の構築へ

岡山市環境局長 甲斐 充



平成26年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様方には、平素より市政とり
わけ廃棄物行政に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。

貴協会におかれましても、廃棄物適正処理の推進、業界関係者の指導・育
成、さらには関連事業の一層の発展に尽力されているところであり、役員を

始めとした皆様方の日々の努力と熱意には深く敬意を表します。

さて、私たちがよりよい環境を次の世代へ引き継いでいく上で、指摘され続けている廃棄物問題では、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会構造から、持続可能な循環型社会の構築が必須とされています。近年、産業廃棄物の排出量はほとんど横ばいで推移しているなど、発生抑制は実現できていない状況にありますが、廃棄物の再利用やリサイクルによる成果もあって最終処分量は減少傾向にあります。

国や地方自治体では、分野ごとのリサイクル及び資源循環への具体的な取組みを規定した法の整備やリサイクル施設の設置などにより、廃棄物の発生抑制だけでなく資源としての有効利用や効率的な処理体制等を総合的かつ計画的に推進しています。

近年、そのほとんどが埋立て処分されたり、違法な不用品回収業者を通じて国内外へ不適正処理されるなどの問題が指摘されている使用済み小型電子機器等についても、昨年4月から小型家電リサイクル法が施行されたことで、不適正処理による環境汚染の防止や最終処分量の減少だけでなく、都市鉱山にも例えられる多くの希少な金属や鉱物などを回収することで資源循環の促進が期待されています。

岡山市としても、法の主旨に沿って、小型電子機器等をはじめとした廃棄物の適正処理や資源回収の促進による循環型社会の構築に努めてまいります。

廃棄物業界の皆様には、これまでにも廃棄物の低減や再資源化をはじめとした多くの施策に多大なご協力をいただいているところでありますが、今後とも、持続可能な循環型社会の構築に向けて業界各社のご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

～環境負荷の少ないまちを目指して～

倉敷市環境リサイクル局 局長 塩尻 康文



平成26年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様方におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、貴協会は昨年設立20周年という大きな節目を迎えられ、5月には協会設立20周年記念式典を盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。貴協会におかれましては、これまで、産業廃棄物処理業者の能力向上・優良化の促進や電子マニフェストの普及促進等を目的とした講習会・研修会の開催、親子施設見学等の環境学習会、行政機関や地域住民等と連携したクリーン作戦など多岐に亘る事業を実施し、産業廃棄物の適正処理及び循環型社会の構築に多大な貢献をされてこられました。今後も益々の御発展、御活躍されることを御期待申し上げます。

さて、平成25年3月に環境配慮契約法の新たな契約類型として「産業廃棄物の処理に係る契約」が追加され、国及び独立行政法人等が産業廃棄物の処理委託契約を締結する際には、環境配慮への取り組み状況と優良基準への適合状況等を評価し、一定基準を満たした事業者に入札参加資格を与える環境配慮契約が推進されることとなりました。地方公共団体においても、産業廃棄物の処理委託契約において環境配慮契約の推進に努めることとされていますが、こうした取組が地方公共団体や民間企業の契約にも波及していくことで、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築に資するものと期待されています。

このような中、本市におきましても、今後の10年間を見据えて平成23年3月に策定した倉敷市第六次総合計画で、「リデュース、リユース、リサイクルが徹底された循環型社会」をめざすまちの姿のひとつとして掲げ、廃棄物の減量化・資源化及び適正処理に努め、廃棄物の排出に伴う環境負荷の少ないまちを実現するべく各種施策を進めているところです。とりわけ、電子マニフェストシステムの利用と優良産廃処理業者認定制度の活用は、環境配慮契約の仕組みとも相まって、環境負荷の低減に資する取組としてその重要性が増しているところであり、本市としましても、これらの普及促進策の充実を図ってまいりたいと考えています。

貴協会会員の皆様方におかれましては、電子マニフェストシステムの利用と優良産廃処理業者認定制度の活用をはじめとして、循環型社会の構築に向けなお一層の御協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会と会員の皆様方にとりまして、本年がすばらしい年となりますよう心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



優良産廃処理業者認定制度について

1. 制度の概要

優良産廃処理業者認定制度の施行から約2年9ヶ月がたち、県内の優良認定業者数も60を超えました。

この制度は、産業廃棄物処理業の実施に関し優れた能力及び実績を有する者の基準に適合する産業廃棄物処理業者を都道府県知事・政令市長が認定し、認定を受けた産業廃棄物処理業者について、通常5年の産業廃棄物処理業の許可の有効期間を7年とする等の特例を付与するとともに、産業廃棄物の排出事業者が優良認定業者に産業廃棄物の処理を委託しやすい環境を整備することにより、産業廃棄物の処理の適正化を図ることを目的としています。

2. メリット

- 通常5年の許可の有効期間が7年となります。
- 許可証に「優良」マークが記載されます。
- 優良認定業者の情報はインターネット上で広く公表され、排出事業者等はその情報を検索できます。

この制度において、産業廃棄物処理業者が優良認定業者と認められるためには2通りの方法があります。

【優良認定】

産業廃棄物処理業の許可の更新の申請時に、更新の申請とあわせて県知事、政令市長に申請を行い、優良基準に適合している旨の認定を受けるものです。

【優良確認】

平成23年4月1日の時点で既に産業廃棄物処理業の許可を受けている者が、その許可の有効期間の満了日までの間に、県知事・政令市長に申請を行い、優良基準に適合している旨の確認を受けるというものです。この申請は、許可の有効期間の満了日までの間であれば、任意の時点で行うことができます。

3. 優良基準

優良基準は、(1) 遵法性、(2) 事業の透明性、(3) 環境配慮の取組、(4) 電子マニフェスト、(5) 財務体質の健全性、(6) その他(5年以上継続して産業廃棄物処理業等の許可を受けていること。優良確認の場合のみ)です。

各基準についての概要は次の表のとおりです。

<優良基準の全体像>

基 準	概 要
遵 法 性	従前の産業廃棄物処理業の許可の有効期間(優良確認の場合は申請日前5年間)において特定不利益処分を受けていないこと。
事 業 の 透 明 性	法人の基礎情報、取得した産業廃棄物処理業等の許可の内容、廃棄物処理施設の能力や維持管理状況、産業廃棄物の処理状況等の情報を、一定期間継続してインターネットを利用する方法により公表し、かつ、所定の頻度で更新していること。
環 境 配 慮 の 取 組	I S O 14001、エコアクション21等の認証制度による認証を受けていること。
電 子 マ ニ フェ ス ト	電子マニフェストシステムに加入しており、電子マニフェストが利用可能であること。
財 務 体 質 の 健 全 性	①直前3年の各事業年度のうちのいずれかの事業年度における自己資本比率が10パーセント以上であること。②直前3年の各事業年度における経常利益金額等の平均値が零を超えること。③産業廃棄物処理業等の実施に関連する税、社会保険料及び労働保険料について、滞納していないこと。
そ の 他	(優良確認の場合のみ) 5年以上継続して産業廃棄物処理業等の許可を受けていること。

4. 申請について

- (1) 申請方法 優良認定又は優良確認の申請をする場合、(2)の該当申請先に書類を提出してください。なお、誓約書(様式1)等の様式は、岡山県循環型社会推進課ホームページからダウンロードできます。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-101017.html>

- (2) 申請先 現在の許可を受けた県民局へ正本1部を提出してください。

- 岡山県備前県民局環境課 〒700-8604 岡山市北区弓之町6-1 TEL 086 (233) 9805
- 岡山県備中県民局環境課 〒710-8530 倉敷市羽島1083 TEL 086 (434) 7007
- 岡山県美作県民局環境課 〒708-8506 津山市山下53 TEL 0868 (23) 1243

※岡山市、倉敷市での許可についてはそれぞれの産業廃棄物対策課

*参考 環境省マニュアル：<http://www.env.go.jp/recycle/waste/gsc/index.html>



産業廃棄物運搬車両の路上検査について

1 取組の概要

県外から搬入され最終処分される産業廃棄物の量は、県内から搬出される量を大幅に上回っています。こうした県外の排出事業者に対する定期的な監視指導は困難であることから、産業廃棄物の適正処理を確保するため、岡山県では「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則」(岡山県規則)により、県外からの搬入に係る事前協議制を定めていますが、この事前協議を経ることなく、県外から産業廃棄物が搬入されるケースが少なからずあります。

また、近年、当初から意図的・計画的に産業廃棄物を県内に搬入し、不適正処理を行う事例が、特に近畿・関西圏からと目される産業廃棄物を中心に生じています。

こうしたことから、県外から搬入される産業廃棄物の不法投棄を未然に防止し、産業廃棄物の適正処理を確保するため、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て、岡山県内の主要幹線道路等において産業廃棄物運搬車両を停車させ、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)と突合する路上検査を実施しています。

2 これまでの路上検査の概要

平成15年度の検査開始以来、ばらつきもありますが、平均して毎年度10台前後の産業廃棄物運搬車両が指導を受ける状況が続いています。

違反事実の内容等により、指導票を交付し是正を求める文書指導と口頭指導とに分けていますが、指導の主な内容としては、許可証の写しやマニフェストの不携行、車両表示義務違反などが多くなっています。

3 過去3年間(平成23年度～平成25年度)の検査結果について

○6月実施分(県内3か所)

		岡山県
停車指示車両数		111台
	うち産廃関係車両	31台
	うち指導台数	9台

○10月実施分(県内5か所 岡山市・倉敷市と合同実施)

		岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数		139台	39台	29台	207台
	うち産廃関係車両	67台	15台	13台	95台
	うち指導台数	9台	12台	0台	21台

4 今後について

検査開始以来、極めて悪質な違反事実の確認はないものの、必要書類の不携行等で指導を受ける車両が後を絶たず、また、県外からの搬入で、事前協議した以外の品目を搬入しようとした運搬車両がいたため、そのまま岡山県外へ持ち帰らせるよう指導した事例もありました。

こうしたことから、岡山県では、引き続き年に数回、路上検査を実施し、産業廃棄物の適正処理の確保を図っていく必要があると考えています。



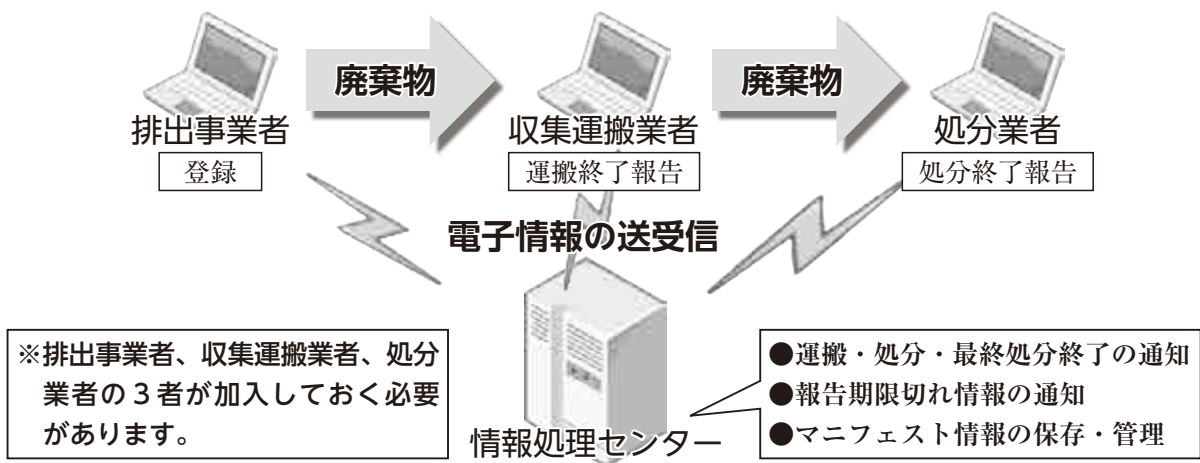
電子 manifests の普及について

1 電子 manifests 制度について

(1) 過去の経緯

産業廃棄物管理票（manifests）制度は、排出事業者が自ら排出した産業廃棄物について、排出から最終処分までの流れを一貫して把握・管理し、排出事業者としての処理責任を果たすための制度です。平成9年の廃棄物処理法の改正により、紙製の manifests を交付する代わりに、情報処理センターを介してネットワーク上でやりとりすることを可能とする電子 manifests 制度が創設されています。

(2) 電子 manifests の仕組み



(3) 電子 manifests 導入のメリット

事務処理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン入力のため、紙への記入が不要。 ・ 画面上で廃棄物の処理状況が簡単に確認できる。 ・ 紙 manifests の保存が不要。 ・ 都道府県知事への manifests 交付等状況報告が不要。（電子 manifests 利用分のみ）
法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法定の必須項目をシステムで管理しており、入力漏れを防止できる。 ・ 運搬、処分、最終処分終了報告の有無を確実に確認できる。 ・ 終了報告の期限が近づくと排出事業者に注意喚起がなされる。 ・ manifests 紛失の心配がない。
データの透明性	<ul style="list-style-type: none"> ・ manifests 情報は情報処理センターが管理・保存しており、セキュリティは万全。 ・ 排出、収集、処分の3者が常に manifests 情報を閲覧でき、不適切な manifests の登録・報告を防止できる。

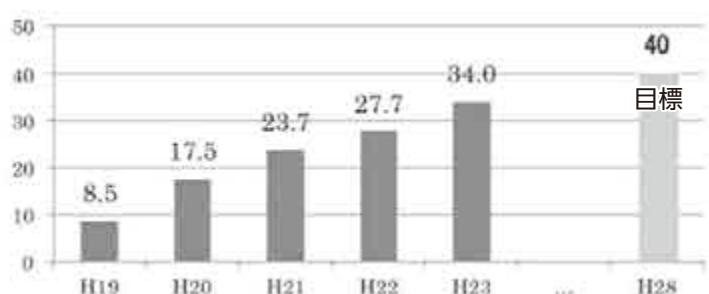
2 岡山県の普及促進に向けた取組み

H22：経済団体、医療関係団体等の協力を得て研修会を実施

H23：排出事業者、処理業者を対象に電子 manifests に関するアンケートを実施

H24：排出事業者、処理業者に対して研修会・操作説明会を実施

3 岡山県における電子 manifests 普及率



電気室やキュービクルなどを 念のため確認してください!!

その中に有害物質である**PCB**を含有している
変圧器(トランス)やコンデンサーがあるかもしれません。

※油封付のコンデンサー



確認の際には
電気主任技術者の指示に従い
事故等に注意してください。



PCBを含有している 電気機器が見つかった場合、 すぐに届出を出してください。

罰則対象となりますので、届出を確実に実施してください。



環境省 経済産業省

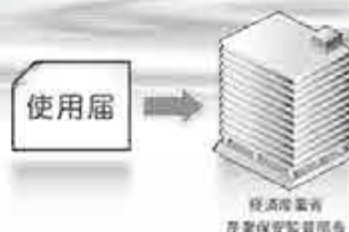


電気機器を使用しているときの届出

使用している変圧器(トランス)、コンデンサー等に
PCBが含有していることが判明した場合

設置場所を管轄する経済産業省産業保安監督部長に「使用届」を提出することが必要です。

※各地方の経済産業省産業保安監督部については下記のURLを参照してください。



http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/links/kantokubu.html

なお、PCBを含有している使用中の変圧器(トランス)・コンデンサー等の設備を売買したときは、譲り渡した者は「廃止届」を、譲り受けた者は「使用届」を経済産業省産業保安監督部長に提出することが必要です。



※また、PCB含有の有無については(一社)日本電機工業会ホームページを参照してください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/pcb-hanbetsu.html>



電気機器の使用を廃止したときの届出

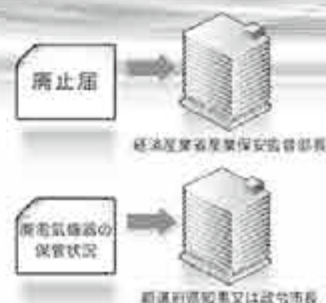
PCBを含有している変圧器(トランス)、コンデンサー等の
使用を廃止した場合

下記の2ヵ所への届出が必要です。

■設置場所を管轄する経済産業省産業保安監督部長に「廃止届」を提出することが必要です。

■設置場所を管轄する都道府県知事又は政令市長に、廃止した後の保管状況を届け出ることが必要です。

※届出する都道府県、政令市の担当部署は下記URLのパンフレットを参照してください。



<http://www.env.go.jp/recycle/poly/pcb-pamph/full2.pdf>

なお、PCBを含有している変圧器(トランス)・コンデンサー等の使用を廃止して廃棄物になったものの譲り渡し、譲り受けは禁止されています。

届出の対象となる電気工作物

変圧器(トランス)	電力用コンデンサー	計器用変成器	リアクトル
放電コイル	電圧調整器	整流器	開閉器
遮断器	中性点抵抗器	避雷器	OFケーブル

PCB廃棄物についての問い合わせは下記でも受け付けています。

産業廃棄物適正処理推進センター(PCB担当) 03-5297-5651 <http://www.sanpainet.or.jp/>
〔(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 内〕

トランス、コンデンサを 廃棄・リサイクルする前に PCBが含まれているか否かの確認を 必ずしてください。



- 廃棄・リサイクルしようとしているトランス、コンデンサ、蛍光灯安定器等には有害物質である PCB^{*}が含まれているかもしれません！（^{*}ポリ塩化ビフェニル）
- PCB含有の有無を確認せずに、PCBが含まれているトランス、コンデンサを廃棄・リサイクルすると違法になります。



環境省

トランスやコンデンサ等の廃電気機器には有害性物質である
PCB(ポリ塩化ビフェニル)を含む絶縁油が封入されているおそれがあります。
PCBが含まれている場合、知らずに鉄くずや廃油として
売買・処分しても違法となり、処罰の対象となる場合があります。
PCBが含まれている廃電気機器・廃油は普通の産業廃棄物とは異なり、
厳重に管理・処分しなければならない「特別管理産業廃棄物」となります。



廃棄・リサイクルする「トランス、コンデンサ、蛍光灯安定器等」の廃電気機器について



まず、廃電気機器に
PCBが含まれているか否かの
調査をしてください。



PCBが含まれている廃電気機器を
引き取ることは違法です。引き取る前に、
PCBの有無を必ず確認してください。

PCB廃棄物の調査方法、問い合わせ先

■絶縁油にPCBを使用した電気機器(高濃度PCB廃棄物)
電気機器に取り付けられている「銘板」に記載されている型式、製造年月を
もとに、各電気機器のメーカー又は一般社団法人日本電機工業会(JEMA)に
問い合わせください。これらの問い合わせ先は下記URLを参照してください。



http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/pcb_hanbetsu.html

また蛍光灯安定器のPCB含有の有無についてはメーカー又は一般社団法人日本照明工業会にお問い合わせください。

<http://www.jlma.or.jp/anzen/pcb.htm>



■微量のPCBが混入した絶縁油に汚染された電気機器(微量PCB汚染廃電気機器等)
銘板に記載されている情報からでは判別ができません。少量の絶縁油を採取し、PCB分析を行い、PCBが含まれているか否かの判別を行う必要があります。
●詳細は下記にお問い合わせください。

産業廃棄物適正処理推進センター(PCB担当) 03-5297-5651 <http://www.sanpainet.or.jp/>
[(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 内]

鹿児島県の優良施設訪問

坂田碎石工業株式会社 近堂 申洋



11月14日から16日にかけて視察研修会を実施しました。今回は参加者28名で鹿児島県の優良3施設を訪問しました。個人的には九州新幹線に乗車するのは初めてなので楽しみな視察研修会でした。

鹿児島県に到着し昼食後にまず訪問したのは、鹿児島県産業廃棄物協会会長の会社で鹿児島市内において無機性汚泥再資源化プラントを稼働されている三栄開発様です。こちらは、汚泥だけでなく建設廃棄物全般を処理する施設で、立地としては高台の開発地ではありますが、すぐ近くに鹿児島実業高校もある中で環境に配慮されて営業されていました。三谷会長には私たちの質問にも一つ一つ答えながら熱心に説明していただきました。



次は、始良市にある丸山喜之助商店様のRPFエネルギーセンターと資源化センターに訪問しました。こちらは、昭和14年創業ですでに4代目の歴史の長い会社でした。鉄スクラップ、古紙の再生資源化、廃プラや処理困難紙・木くず等によるRPF固形燃料化、食品残渣の肥料化、飼料化、そして、災害廃棄物を引き受けておられます。屋内型のリサイクル施設で整然とした場内で作業をされていました。特筆すべきは、食品残渣を飼料化されたものを自社牧場で飼育しているダチョウの餌としている点です。ダチョウの大きな卵は地域でかなりの好評を受けて販売しているそうです。

初日の視察はこれで終わり鹿児島市内のホテルに入り、郷土料理をいただきました。その後、数人で銭

湯に行きました。そこは源泉かけ流しの昔ながらの銭湯で今にも倒壊しそうです。鹿児島にはこのような銭湯がいくつもあるそうです。

二日目、いちき串木野市の西薩クリーンサンセット事業協同組合様を訪問しました。こちらでは、焼酎粕のリサイクルをするために焼酎製造会社6社が設立した協同組合の工場です。従来は海洋投棄していた焼酎粕から飼料や肥料、エタノールやバイオガスを回収しています。また、隣接した濱田酒造さんの焼酎製造工場を見学しましたが、機械化され電子制御された清潔で巨大な工場は私の酒作りのイメージを一変しました。杜氏に頼った従来の作り方より安定した味や品質が保たれると説明を受けました。しかし、芋の選別は人力でした。

これで視察は終了し、近隣の金山蔵という串木野金山跡地で見学と昼食をいただきました。

焼酎を仕込んだ1,000ℓの甕がずらりと並ぶ坑洞まではトロッコ移動して坑内を見学しました。先ほど視察させていただいた濱田酒造様の経営なので、お土産に限定販売の焼酎をどっさりと購入させていただきました。昼食の後、霧島神社に参拝しましたがそこでちょうど桜島が噴火しました。桜島と噴煙の作る遠景が巨大なカメのようでした。新婚旅行で当地を訪れた龍馬やお龍はどんなシルエットを見たのでしょうか？

次のえびの高原、高千穂河原での眺める景色から、太古の昔から続く神々しい火山帯の中にいることを感じつつ、宿泊先の霧島国際ホテルに到着しました。

三日目は、桜島のふもとの有村溶岩展望所に訪れたのですが、間近に見る桜島の雄大さもさることながら、溶岩や歩道に層をなす火山灰が日々活動している桜島を物語っていました。

最後に有意義な視察旅行を企画していただいた事務局や、岡本会長をはじめ参加者の皆様にはお世話になりました。



平成25年度第2回中国地域協議会開催

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の第2回中国地域協議会正副会長・事務局
長等会議が開催されました。



1 日 時

平成25年10月15日（火）
午後4時30分～午後5時30分

2 場 所

出雲市大社町杵築東286
島根県神社庁

3 出席者

岡山県：岡本靖磨呂会長、
大塚雅司副会長、
加納睦也副会長、
稲村義博専務理事兼事務局長

広島県：小川勲会長、木吉榮副会長、長瀬充良副会長、
槇岡達真副会長、三谷哲也副会長、山本誠専務理事

山口県：吉本勝利会長、榎本隆博副会長、
阿部吉明専務理事兼事務局長、喜井鶴澄事務局次長

島根県：福代明正会長、野津勝男副会長、大久保敦司副会長、
米山二郎副会長、松本伸二専務理事

鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事兼事務局長

全国産業廃棄物連合会：森谷賢専務理事

オブザーバー参加：川本義勝氏

4 議 事

中国地域協議会正副会長・事務局長会議の開催にあたり、幹事県である島根県協会の福代明正会長が開会の挨拶の後、全産連の森谷専務理事が来賓として挨拶をされた。

その後、地域協議会の規定により福代会長が議長となり、議事に入った。

(1) 議 題

- ① 災害協定に伴う体制及び活動状況について（統一議題）
- ② 環境省は電子manifestoの普及率を平成28年度において50%に拡大することを目標にしている。このことは、紙manifestoの頒布連携事業費の大幅な縮減に繋がるが、振興センターと全産連から合わせて75%の補填を受けている。今後も補填の継続を要望したい。（広島県）

(2) 全産連からの情報提供等

- ① 消費税増税に伴うmanifesto価格をどうするか理事会にて検討中である。
- ② 環境省が巨大地震等の災害廃棄物体制作りを行っており、ヒヤリング等を通じて全産連も参加していく考えである。
- ③ 許可講習会Web申込み代行事務への移行が現在進行中である。
- ④ manifesto管理PCのXPメンテナンス終了に伴い、PCを更新すると共に事務業務を全般的に電子化するため、管理プログラムの改良を検討中である。

会議の概要は以上のとおりですが、平成25年7月に山口県東部、島根県西部を中心とした豪雨災害が発生したことを受け、各県協会が災害協定に伴う支援体制や活動実績状況等について活発な意見交換を行うとともに、全産連から頒布連携事業費や消費税増税等に伴う対応状況についての報告等があり、有意義な会議となりました。

平成25年度事業優良施設視察日帰り研修に参加して

「グループネットワークを利用しての廃棄物一括リサイクルマネジメント」

協同組合倉敷市環境保全協会 内藤 久明



岡山県産業廃棄物協会では、平成25年度事業優良施設視察日帰り研修を廃棄物の適正処理及び会員の資質の向上並びに循環型社会構築に向けた会員の新たな知見習得の機会とし、平成25年10月23日木曜日 会員48名の参加により実施されました。

今年度は、広島県福山市のJ F E環境株式会社西日本本部様のご協力により、同社のR P F工場、P Mリサイクル工場、蛍光灯リサイクル工場の三施設を見学させていただきました。

同社は、J F Eグループの総合リサイクルカンパニーとして、昭和52年10月に設立され総合資源化リサイクル事業、総合物流事業を軸に資源循環型社会形成のトッランナーとして事業を展開されており、福山工場はその一役を担っておられます。

今回見学させていただいた、R P F工場は、一日60 tの処理能力を有しており、産業廃棄物の廃プラスチック類を原料として製造されており、製造された固形燃料R P Fは、当然石油等の代替燃料として使用されております。特にこの工場の特長は、プラスチック製品の端材や建設廃材中の選別品などの幅広い廃プラスチック類を処理するとともに、製鉄所から排出されるスラグと混合し、転炉用の鎮静剤にするなど用途に応じて製造されているところです。

P Mリサイクル工場は、従来再生固形燃料とさ

れていた使用済みフレコンバッグを処理し、その製品はペレット化されバージンP Pの代替えとして使用されている。

蛍光灯リサイクル工場は、1ヶ月15 tの処理量で破砕から選別までを行っておられ、選別品は横浜工場へ送られ蛍光灯を構成しているすべての部品、物質を回収し完全リサイクルを実現しており、他工場と合わせると国内最大規模を誇るとされております。

ここで処理製造されたものは、グループ企業のネットワークを生かし効率的に利用するとともに再生産されている。

また、質疑応答では、リサイクルされた製品の利用の現状や将来の取組等の質問が多数有り、活発な質疑応答となりました。

見学後、鞆の浦の街並み散策が予定されていましたが、台風の影響もあり雨の為、残念ながら中止となりました。昼食会場では、ピアノソロの生演奏を聴きながらのバイキングとなり、いい雰囲気の中、和気藹々とした意見交換など、話が弾んでいました。予定より早い到着となりましたが、参加者全員事故怪我もなく有意義な研修となりました。



「優良産廃処理業者認定制度の普及のために」

—第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加して—

エコシステム山陽株式会社 加納 睦也

11月8日、(公社)全国産業廃棄物協会、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団などの主催により第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」が三重県の伊勢志摩ロイヤルホテルにて開催され、岡山県協会より大塚副会長、松本常任理事とともに出席して参りました。主催者代表として石井連合会会長に始まり、環境省より塚本課長(遅れて梶原部長)、地元三重県より石垣副知事、山本県議会議長がそれぞれ挨拶をされました。続いて環境大臣表彰が行なわれ、全国の16名が産業廃棄物関係事業功労者として受賞されました。



基調講演は「低炭素・省エネ社会に向けた産業廃棄物処理」と題して、東京工業大学の柏木孝夫特命教授が

行ないました。柏木教授はエネルギーのご専門で経済産業省主催の委員会のメンバーでもあり、まずは原子力発電について、世界で今後も原子力が伸びる以上、日本も国力を維持増大させるためには一定量残すべきと主張、さらに電力制度改革についてわかりやすく説明されました。また、今後はITを活用して電力を効率的に使う「スマートグリッド化」を進めると同時に、産業廃棄物業界には原子力発電の代替となる「ごみ発電」を期待され、廃棄物処理と発電事業の一体化のようなビジネスモデルを造るべきと述べられました。

後半は、早稲田大学の長沢教授をコーディネーターとして「優良産廃処理業者認定制度の普及のために」と題してパネルディスカッ



ションが行なわれました。パネリストには冒頭挨拶された環境省、三重県の関係者に加え、三重県産廃協会の井上副会長(三重中央開発株)、地元排出企業代表として前山井村屋株社長も登壇されました。一昨年より、産業廃棄物処理業者の優良性評価制度は優良産廃処理業者認定制度に移行しました。処理業の許可の有効期間が7年となり、優良基準への適合が許可証に記載されるなど、具体的なメリットがあるもののまだ認定取得数が少ない現状があります。電子マニフェストの導入など家族経営的な事業者に対するハードルが高いことなどが課題として上げられましたが、排出者が価格以外の多様な要素を考慮して事業者を適正に選べるよう制度をうまく活用すべきだろうと感じました。

今年には伊勢神宮20年毎の式年遷宮にあたり、全国産業廃棄物連合会希望者による参拝ツアーも企画され、大会開始前に松本常任理事とともに参加して参りました。早朝より大変な賑わいでしたが、無事に正式参拝を行なうとともに神楽殿にてご祈祷をしていただきました。伊勢神宮は願い事をするのではなく、神に感謝を捧げる場所だということも知り、大変有意義な全国大会参加となりました。

秘島・西表に棲む 希少種・天然記念物

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

北朝鮮の政変には驚きを通り越し、恐れさえも感じる。似たような騒動が、中国の辺境の省・少数民族の住む地でも起っている。反対勢力への呵責なき弾圧と、隠ぺい工作は収まるどころか、ますます過激になってゆく。それに加えて貧富の異常な格差、特権・汚職体質はひどくなる一方。国民の不満を抑えるため、問題意識を外に向けさせるための、様々な姑息な工作が激しくなっている。

それにつられるようにして、日本の政権も右傾化し、軍事強化、秘密主義に陥り、いずれも国民の真の幸福をないがしろにしているように思えてならない。

一向に改善の兆しもないままに、今年もチベット遠征計画は時間切れとなってしまった。それではと、急遽、慣れ親しんだ日本の秘境調査を計画したのだった。

※しかしながら、2014年度には是非決行したいものと、可能性の高いチベット州境：新疆ウイグル側の崑崙山脈6000m高地の探検を画策中である。

秘境八重山の最後の秘境

自身にとって、最後に残しているジャングル秘境ルートが、沖縄県八重山西表島の中心部にある。近年、西表島でも、安全面（山中で遭難・行方不明となる者が急増している）から、自由な立ち入りが厳しくチェックされ始めていて、探検者の経歴、体力、技量に加え、その計画内容などが問わ



秘境西表探索コース①~⑤

れるようになっている。

今回の計画（図中⑤）は、島の南に流れる最大の川・浦内川を遡上して、カンピレーの滝からその支流イタジキ川に入り、その奥にあるマヤグスクの滝を経由する。そこからはハブやヤマネコ、イノシシが住む道なき渓谷に分け入り、原生林の立ちのかる中央山脈を越えてヒナイサーラの滝を目指し、島の対岸の船浦海岸に抜けるコース。いわば西表の心臓部とも言える原生林真ただ中、中央山脈突破コースである。これまでの経験から、島のことは十分熟知しているとはいえ、もはや単独行動は許されない。

そこで、先年、天山山脈の探索を共に行った親友・大庭に声をかけた。彼にとっても魅力的なコース・計画であったようで、かなり乗り気ではあったが、結果的に体調不十分などもあり、共同戦線を張ることは叶わなかった。その他の友人にも声をかけてみたが、皆尻込みしてしまって、ついに断念せざるを得なくなった。

急遽予定変更。主に西表のジャングル（仲間川上流）、そして、本島のジャングル（ヤンバル）に棲むことが知られている特異な動植物、遺伝子資源として重要な生き物達にできるだけ多く巡り合う作戦に切り替えた。



西表ジャングルへ分け入る



仲間川流域林・正面に御座岳

西表固有種

10月になっても、海洋の温度が下がらず、異常ともいえる数と強さの台風が頻発していた。直前に27号、28号がたて続けに来て、その後に29号も南方洋上に待機していた(さらには、フィリピンに向かった史上最悪の30号も発生した)。しかし、あちこちでやっと取れた予約もある。不安を残しながらも見込み発車となった。

タイミング良く、台風28号が沖縄と四国の間を通過していて、何とか岡山空港を飛び立つことはできた。那覇で乗り継ぎ、その日のうちに八重山・石垣にたどり着けたものの、まだまだ余波による風は強く、昆虫への期待は薄い。



秋の桜：カトレアにも負けないトックリキワタ：カボック
石垣の花：ニトベカズラとクマバチ
南国の花：ハイビスカス変わり花
蝶を呼ぶ花：ヒヨドリバナとリュウキュウアサギマダラ

11月の八重山来訪は新婚旅行以来である。主にこの時期に発生する動植物・島の固有の植物・動物にひよっとしたら巡り会えるかも知れない。

ジャングルを歩きまわればある程度の成果は収められるだろう。そう考えを切り替えた。

ちょうど石垣にやってきていた旧知の昆虫愛好家・写真家有田君達の一行とも出会え、様々な最新情報を仕入れることが出来た。天候の回復が期待される中、高波の荒海を突っ切り、勇躍西表探索に向かった。

西表の探索は、家族旅行も含めてもう10回近くになる。なじみの店、なじみの人たち、なじみのジャングル・・・これまでかなりの場所を歩きまわっていて(①～④ルートを含む)、⑤の縦断ルートはむりにしても、残された良好な自然を効率良く歩くことは出来る。

3代目(1, 2も知っている)西表のターザンの住む島最西端の秘境・舟浮。1日数本の小型フェリーでしか行けない場所のため、自然は良好に保たれていて、八重山最高のビーチ：イダノ浜は相変わらず素晴らしかった。

海岸道路の最奥地・白浜地区も、道路・港湾施設は補助金で立派になってはいたけれど、ここも高齢化や時期のせいもあってか? 一時の活気・面白さはなくなっていた。



イダの浜：八重山で一番きれいな浜星、太陽の形をした砂(サンゴ)

それでも馴染みのお婆ちゃん（魔女風芸術家）にも会え、2世息子に引き継がれた有名割烹（波照間）や、こだわりの自然素材民芸店にも寄って、情報を集めアドバイスを得た。



薬草：月桃（左）
一夜限りの名花・幻の花：サガリバナ（中）
希少固有蘭：ナリヤラン（右）

念願の希少種出現

これまでに押さえていたジャングルの好ポイント、まずその周辺を歩き回った。

実りの秋・10月の主な狙いは、木の実・どんぐりの数々である。

次に、多くが天然記念物ともなっている希少昆虫・動物そして、島固有の薬用・有用植物とその種子などである。

この時期、西表島周辺では日本最大（世界最大かもしれない）のドングリが稔る。

異常気象、台風などの自然災害・悪条件が重なり、ここしばらくは出会えていない。

これまでの訪問は、植物の開花・蝶の発生最適を考え、6-9月が中心だった。

前年に落下した木の実は、その大半がリュウ



キュウイノシシなどに食べられてい



執念で見つけた木ノ実：ハスノミカズラ
日本一大きいオキナワウラジロガシ
白昼、砂浜に現れた、希少固有種：ヤエヤマタテヅノマルバネクワガタ
ペットにもなる巨大なモリオオゴキブリ

て、彼らが食べ残した少数の実を探す以外にはなかった。本年こそはと、期するものがあった。

ところが、このウラジロガシの木がなかなか見つからない。やっと探し当てても、果実が付いていない。今年の強力な台風襲来に花芽が痛めつけられたに違いなかった。

それでも、執念で、なんとか落ち葉の中から沢山の巨大どんぐりを見つけることができ、永年の思いが達成された（本年産のものは、大半が緑で巨木に付いたままだった）。

地面を這いまわった成果は他にもあり、巨大森ゴキブリ（クワガタムシ同然）、サソリモドキ（毒液は出すが刺さない）、セマルハコガメ、巨大なジョロウグモにも出会えた。

夜にしか咲かないため、ジャングルの名花、幻の花とも称されているサガリバナ群落、希少固有種ナリヤランの開花時期にも当たった。硬質ハスノミカズラの果実は大雨で流された結果、ジャングル内では発見できず、南風見田（ハエミタ）の2キロ以上もあるかという純白の砂浜を何時間もかけて歩きまわって、執念の発見をした。

その頑張りに応えるかのように、休憩中の砂浜に、昼間だというのに、西表最大級の珍種、リュウキュウタテヅノマルバネクワガタまでもが現れた。

その頑張りに応えるかのように、休憩中の砂浜に、昼間だというのに、西表最大級の珍種、リュウキュウタテヅノマルバネクワガタまでもが現れた。



朽木、石の下にはサソリやサソリモドキが潜む



空間には、巨大な女郎蜘蛛

天然記念物、固有種との出会い

天然記念物：セマルハコガメ（腹側に蝶つがいを持ち、手足を完全に隠してしまえる日本唯一の亀）、オオコウモリ（フルーツバット）、カンムリワシには今回も真近で出会えた。

初めての出会いの一つは、日本最大のキシノウエトカゲ。これは、早朝の散歩・道路横断中に折悪しく走ってきた車に轢かれたらしく、せんべい状態で見つかった。発見が早く、まだカンムリワシにも、カラスにも突かれていない。早速回収し、アリやカラスに食われないよう天日乾燥処理を行った。出来れば標本として持ち帰りたかった



木の実を求めてオオコウモリが飛ぶ
電信柱に止まって、獲物を探すカンムリワシ

けれど、死んでいるとはいえ、貴重な天然記念物。保護センターに連絡して寄贈した。

しかし、これらの発見も今回の旅では序の口だった。

異常気象のせいばかりとは言えない、貴重な初発見の数々が、その後に控えていた。



車に轢かれた日本一大きなトカゲ：キシノウエトカゲ



道端で見つけた蝶番機能を持つセマルハコガメ

岡山西
支部

金甲山クリーン作戦



実施日時	平成25年11月20日（水）	8:00～11:00
実施場所	岡山市南区鮑浦地内	金甲山線
参加者	総数 70名	
	環境省中国四国環境事業所	2名
	備前県民局地域政策部環境課	2名
	岡山市環境局環境事業課	10名
	玉野市環境保全課	1名
	岡山南警察署生活安全課	3名
	甲浦学区町内会（宮浦、鮑浦、北浦、郡）	25名
	岡山西支部会員	27名
参加車輜	8tダンプ、4tダンプ、2tダンプ、軽四 計10台	
回収廃棄物	（廃タイヤ、家電、家庭ゴミ等）	

今年も秋空のもと、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会岡山西支部主催による金甲山クリーン作戦を実施しました。

早朝8時より、忙しい中大勢の方に金甲山登山口三分池前に集合して頂きました。

まずは、環境省の役田さんに開会の挨拶をお願いし、本日の作業手順を岡山西支部長の井上さんより発表して頂き、金甲山山頂からと登山口からと2つに分かれて、中腹を廃棄物の集積場所としました。

毎年、金甲山線をクリーン作戦として、不法投棄されたごみを回収していますが、「ごみゼロ」になかなか達成できません。また、廃棄物が多かった場所には、再発防止啓発看板も設置しました。ごみのない瀬戸内海国立公園にしていきたいと思います。これからも不法投棄がなくなるまで、支部活動を続けていきたいと思っています。

最後に、ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。



東備

支部

環境クリーン作戦

『じえじえじえ回収作戦』

平成25年11月20日（水）8：30、素晴らしい秋空のもと赤磐市役所赤坂支所へ集合、赤磐市内6ヶ所名所巡りに、約40名車に乗り合わせてウキウキ気分で出発。

が、 『じえじえじえ』美しいはずの景色が不法投棄一色の景色に・・・

中山支部長は、名所巡りから急遽、環境クリーン作戦に変更・・・

県市の職員・東備支部員のみなさん嫌な顔をひとつせず数ヶ所に別れ「作戦開始！」不法投棄人気ランキング上位を占めるテレビ、冷蔵庫、洗濯機そのほか上位を独占する廃棄物が大集合、ある池のほとりにはコンガラが『どうやってここまで運んだんじゃろうか？』、山の中の冷蔵庫は『まだつかようがぁ？』、谷のさわの粗大ゴミは『こげえとこへ捨てるんは常習犯か？』と言う声を聞きながら「楽しく！？」「手際良く」どんどん回収していきました。

集めた廃棄物の量は、「約40㎡」全員で手分けをして適正に分別処理しました。

心ない人達があとを絶たない昨今、いつかその人達に「倍がえし天罰」が必ずくると信じて最後に不法投棄防止看板を設置し、終了解散しました。

関係者のみなさん赤磐市内名所巡りは、次回を「乞うご期待！？」・・・



参加者：岡山県備前県民局 本局・東備地域事務所 各環境課職員
赤磐市役所 本所・赤坂支所・熊山支所・吉井支所 各環境課職員
（一社）岡山県産業廃棄物協会東備支部会員（五十音順）
石田商店・エスク岡山(株)・カワダ建設(株)・金平鉄鋼(株)・キョクトウ(有)・
コーワン(株)・(株)山陽精油所・(有)豊田建運・日生運輸(株)・(有)藤本組・横山商事(株)

井笠 第16回井笠地域環境クリーン作戦実施

支部

- ・日 時 平成25年11月20日（水）
- ・実施場所 井原市門田・矢掛町江良 2箇所
- ・参加人数 44名（協会員22業者33名 外部協力者11名）
- ・参加車両 18台（2tダンプ、4tダンプ、2tパッカー、4パッカー、8tダンプ他）
- ・収集廃棄物 可燃ゴミ（粗大ゴミ込）：井原クリーンセンター
処理方法 不燃ごみ（粗大ゴミ込）：井原リサイクルセンター
タイヤ・家電・その他（がれき類等）：井原クリーンセンター下倉庫
- ・立看板の設置 作業終了後、廃棄物が多かった箇所に再発防止啓発のため立看板を設置



今年も昨年同様、井笠地域環境クリーン作戦を実地しました。

県・市職員の方々も参加し、矢掛町江良地域・井原市門田地域と別れ、山の斜面に捨てられた、冷蔵庫洗濯機等の家電製品や廃タイヤ、金属類その他布団などの大きなゴミや空き瓶、ペットボトルなどを回収し、分別後に収集車やトラックへ積み込みました。



この日、集められたゴミの量は25.60トンでした。不法投棄がなくなり、こうした活動が、不要になる日まで、共に頑張りたいと思います。

最後に、お忙しい中ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。

津山

支部

第19回 津山地区環境クリーン作戦

1. 実施日時 平成25年11月21日（木） 9：00～12：30
2. 実施場所 美作市横尾地区
3. 回収量 可燃物（プラ他）1t、金属くず他2t、合計3t



今年のクリーン作戦は美作市横尾地区にて行われました。当日は、多少の寒さを感じましたが晴天の空の下、美作県民局から6名、美作市から5名、地元の方が1名、そして支部会員25名の総勢37名に参加いただきました。8時30分に美作市英田総合支所にて開会式を行った後、車でくねくねした狭い山道を登り、現場に到着しました。

現場は片側が谷になっている山林で、斜面に沿って広範囲に、ビン、缶、衣類、廃家電、そして古タイヤといったものが不法投棄されていました。周辺に民家がないため格好の標的となっているようでした。



全員で急勾配な斜面を下り、可燃物（プラ他）、金属くず、ビンの3つに分類分けしたゴミ袋にどんどん回収していきます。今回の対象箇所は捨てられた雨合羽といった廃プラなども多く、重量は軽くても、かさばるものが多く苦勞しました。

一時間程作業を続けると、辺り一面にパンパンに膨らんだゴミ袋で埋め尽くされました。



少し休憩した後、ユニック車の腕が届くところまで、声を掛け合い、リレー方式でゴミ袋を上げました。道路下まで上げられたゴミ袋はそこでフレコン詰めされ、ユニック車のクレーンを使いトラックに積み込みました。3メートルの高さを、フレコンや廃家電を1つ1つゆくりと持ち上げていく作業は圧巻でした。

この日は可燃ゴミ1t、金属くず他2tの計3tを回収し、会員各社からご協力いただいたトラック4台、ユニック車2台に載せ、12時頃作業は終了しました。来たときは、ゴミで埋め尽くされた山林でしたが、元の美しい自然に戻すことが出来ました。

去年もクリーン作戦に参加しましたが、不法投棄されたゴミを回収するのは、多くの時間と労力が必要です。「その時良ければよい」といった軽率な行動から生まれる不法投棄がなくなり、全てのゴミが決められた方法で、適切に処分される日が来ることを強く望みます。

ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。



倉敷
支部

第20回 倉敷地域クリーン作戦



いつもながらクリーン作戦開催日の天気が気になって……。

前日、倉敷地域は雨でしたが、その日の夕方にピタリと止んでくれて当日は晴天。

今回で倉敷支部は20回目の節目を迎えました。

受付開始時刻は8時半でしたが、それよりも早く多数の支部会員が集まってきて、準備作業は非常にスムーズに出来ました。

そのおかげで予定通り午前9時ジャストに室山支部長の挨拶でクリーン作戦がスタートいたしました。

参加者は50名で、今回は倉敷市役所約1Km南を東西に流れる吉岡川の一部、約4Km間を清掃しました。

倉敷支部管内では、不法投棄箇所が少なくなり、今回も開催場所を決めるのに非常に苦労いたしました。

岡本会長等も来賓としてお招きしましたが、一緒に作業に参加していただいてクリーン作戦も一層盛り上げられました。

作業方法は4班に分かれて右岸左岸の作業範囲を両端から清掃していくことにしました。

いつもの事ですが「安全第一」での作業を心掛けていますが、今回は長靴を使用しての作業となりました。

河川・河川敷に捨てられていた物は、ビニールに入った可燃物や、ペットボトル・空き缶で家電や大型家具などは無くて、ほとんどが河川敷や法面に捨てられていました。

川に浮いていた物は釣り竿用のタモ（網）を使用してすくい上げ、他は火箸などで取り分けしながらビニール袋にいれました。

ご近所の方から「何をされているのですか？」と質問をされました。

岡山県産業廃棄物協会倉敷支部のクリーン作戦の概略を話すと非常に喜んでくださいました。作業が終わった班の人により、看板を設置して、正午前には全ての作業を終え、けが人などもなく無事にクリーン作戦を終了することができました。



(一社)岡山県産業廃棄物協会趣味の会ゴルフ大会

広報委員 泉 正 昭



平成25年10月30日(木)、趣味の会ゴルフ大会が後楽ゴルフ倶楽部(岡山市北区真星)にて行われました。前は遠部幹事、今回は大塚幹事により3年ぶりに全会員に案内をし、県下各地域からの参加者のもと盛大にプレーされました。

秋晴れのゴルフ日和の中、親睦を深めながら楽しいゴルフができたと思います。今回は、新しい人も増え全体的にハイレベルな大会になったと思います。グロスで80を切る人が2人、スーパーショットでのニアピンが多数、皆さん実力を上げてこられました。その中で優勝は岡山中央支部の光森敏文さんです。ご立派!!

来年も今回以上の参加者を増やし、親睦ゴルフができるよう期待したいものです。幹事さんよろしくお願い致します。



ゴルフコンペ成績表(ベスト10)

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	光 森 敏 文	39	43	82	13.2	68.8
準優勝	林 茂 樹	44	47	91	19.2	71.8
3位	藤 井 武 士	46	41	87	14.4	72.6
4位	重 藤 武 士	37	36	73	0.0	73.0
5位	大 塚 雅 司	40	37	77	3.6	73.4
6位	小 野 勝 己	41	40	81	7.2	73.8
7位	中 野 貞 治	51	50	101	26.4	74.6
8位	秋 永 詔 儀	45	49	94	19.2	74.8
9位	平 松 敬 史	50	55	105	30.0	75.0
10位	松 浦 巖 紀	46	52	98	22.8	75.2

「作ることの喜び」を感じたくて

中央建設株式会社 秋山 則子



こんにちは。

私は中央建設(株)本社で産廃契約やマニフェスト処理業務などの事務処理をしている「秋山」です。

趣味とっていいのか・・・実用的な手芸で、やり始めたのは長女を出産してからです。

きっかけは『この子のために世界にたったひとつのものを作ってあげよう』と裁縫から始めましたが、実は編み物はまったくの初心者でしたので義母に色々とお教わりしました。

私は何かしたくなると即、行動するタイプなので手芸センターに何度も通ってお店の方からもアドバイスをたくさんいただきました。

現在は週に1～2日くらいのペースで家事を済ませて子供たちの面倒をみながら編み物をしています。

まだまだ、たいしたものは作れませんが単純作業の繰り返しが好きで、かぎ編みで帽子などを作ったりして夢中になっています。

出来上がったものはほとんど家庭で使用しますが時々、地域のバザーに出展もしています。

自分が作ったものが安くても売れるとすごくうれしいです。

職場では、同世代のママさん社員も数名いますが、わきあいあいの雰囲気です。プライベートのことも相談できる上司や仲間にも囲まれています。

これからも社員としても、母親としても、そして女性としても心身ともに余裕を持ち家族や職場の方に感謝し、無理をせず自分らしさを表現し周りとの幸せを分かち合う生き方を楽しんでいきたいです。



(写真は、洗剤要らずのアクリルたわしや靴下、抱っこ紐等です)

青年部会 クリーン作戦&環境学習

in倉敷マスカットスタジアム



平成25年10月17日（木）に倉敷東ロータリークラブ主催のクリーン作戦及び環境学習の講師・手伝いの依頼があり、参加させていただきました。参加は、倉敷市立中庄小学校（5・6年生）120名・倉敷ロータリークラブ会員20名・倉敷スポーツ公園管理事務所職員10名・青年部15名、総勢160名での開催となりました。当日は、台風の影響もあつたりと天候が心配されましたが、快晴となり気持ちの良いクリーン作戦となりました。



クリーン作戦の様相



青年部会参加メンバー



クリーン作戦後、環境学習へ！！！！





元気いっぱいの中庄小の生徒たち



たくさんの笑顔で閉幕

今後も、環境学習を通じて多くの子供たちへゴミ廃棄物、リサイクル、当協会のことなどを知っていただけるように活動していきたいと考えています。

環境学習は、倉敷マスカットスタジアム内の武道館で行われ、講師の桃太郎（木下副会長）と（きじ?はともかく）、さる（佐藤幹事）、いぬ（西本副会長）の手助けもあり大盛況で幕を閉じました。



熱弁を振るう桃太郎（木下副会長）



倉敷東ロータリークラブより感謝状

青年部会 会員募集

～ネットワークの構築・自己啓発・次世代の育成～

青年部会 会長 藏 本 悟

お問い合わせは、事務局まで宜しくお願いします。

協会への入会勧誘のお願い

当岡山県産業廃棄物協会は、創設以来、産業廃棄物処理業者等の相互連携のもとに、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用等についての調査・研究・研修・指導・情報提供等幅広い事業を実施することにより、産業廃棄物の適正な処理を推進し、産業の健全な発展に寄与するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に大きな役割を果たしています。

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくためには、業界の方々が結束することにより、組織をより強固なものにして、共存発展することが肝要であります。

協会の増強については、協会及び関係機関において日頃、勧誘を行っているところではありますが、一般社団法人として組織率は、未だ十分とはいえないのが現状であります。少数よりも多数組織の拡充強化が、社会的にも発言力が強力なものとなり、説得力も増大し、業界発展の基礎になります。

1社でも多くの方が協会に入会されますことが、更なる発展を期するための、必要な条件であります。

会員の皆様におかれましては、未加入処理業者へは正会員として、また、取引先の排出事業者には賛助会員として、是非ご入会の勧誘をお願いいたします。

[入会金及び会費]

	正会員			賛助会員
	収集運搬業		中間処理業 最終処分業	
	(車両2台以下)	(車両3台以上)		
入会金	30,000円		60,000円	30,000円
会費	月額：4,000円	月額：6,000円	月額：10,000円	年額：50,000円

[入会方法]

入会には**入会申込書**及び**業の許可書のコピー**を提出していただくこととなっていますので、下記協会事務所へ電話などでご連絡いただければ、入会申込用紙をお送りいたします。

一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6
TEL：086-254-9383 FAX：086-254-8766



岡山県の中北部、久米郡美咲町の標高400mの山間地、大井和西地区に棚田が広がっています。大きな谷全体にぐるりとすり鉢状に850枚広がっており、織りなす鎬模様が独特の曲線をもって描き出す景観で有名です。四季折々に変化する様も美しく、写真撮影ポイントとしても人気があり、内外から多くの見物客が訪れます。

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年の干支は「馬（甲午）」です。

有名な故事に「人間万事塞翁が馬」というのがあります。人生における幸・不幸は予測しがたいという意味ですが、このところの世の中をまさに言い当てていると感じます。景気回復の兆しがあると言って安易に喜んだりせず、しっかりと足元を踏み固めることが肝要なのだ...

本年が皆様にとって発展の年となりますようご祈念申し上げます。

(それにしても、有馬記念のオルフェーヴルは強かった！！) (T.M)

会報・くりにん岡山 第49号

平成26年1月31日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

日本エクスラン工業株式会社

西大寺工場

工場長 西田良祐

〒七〇四一八五二〇

岡山市東区金岡東町三一三一

電話（〇八六）九四二一九八四〇

株式会社石原工務店

代表取締役 石原孝

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町八〇一一

電話（〇八六）九四二一五一五一

内海産業株式会社

代表取締役 松本俊成

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一一九一二七

電話（〇八六）九四八一二二三七

牛窓港湾運輸株式会社

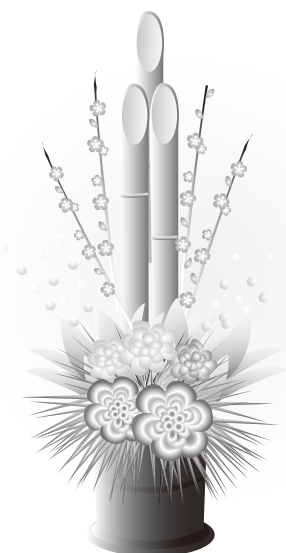
代表取締役 田中三春

〒七〇一四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九一二

電話（〇八六九）三四一四九七八

謹賀新年



株式会社日本資源開発社

代表取締役 林茂樹

〒七〇九一〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二

電話（〇八六）二九七一二三二八

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二一八〇〇五

岡山市中区江崎七四六一三

電話（〇八六）二七六一一一一

株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎文夫

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一一四一三三

電話（〇八六）九四二一三三八一

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 櫻井勉

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町一一五七一

電話（〇八六）九四八一四一七〇

明和建設株式会社

代表取締役 黒田正義

〒七〇九一〇六三一
岡山市東区東平島一三九七
電話（〇八六）二九七―三七三七

ナカ重量株式会社

代表取締役 中俊介

〒七〇二一八〇〇六
岡山市中区藤崎五六七―三
電話（〇八六）二七六―六九〇〇

ナカウン株式会社

代表取締役 中光正

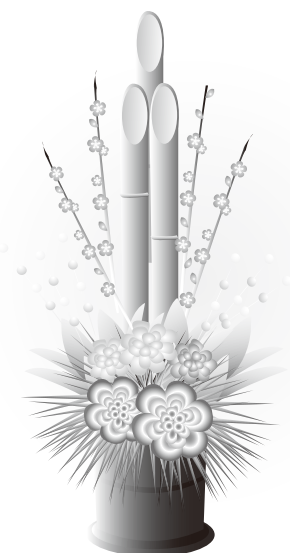
〒七〇三一八五八〇
岡山市中区倉富三四〇―一八
電話（〇八六）二七七―四一四〇

株式会社ニシテック

代表取締役 西本智

〒七〇九一〇六三五
岡山市東区草ヶ部一一七一―一
電話（〇八六）二九七―〇九八五

謹賀新年



有限会社岡一総業

代表取締役 頼礼

〒七〇三一八二六六
岡山市中区湊一三六三一―一八
電話（〇八六）二七四―五七三九

有限会社井上設備

代表取締役 井上實

〒七〇二一八〇二四
岡山市南区浦安南町五八四―三
電話（〇八六）二六三―八七四五

有限会社

リサイクルセンター平島

代表取締役 筒井邦典

〒七〇九一〇六三一
岡山市東区東平島二七―一
電話（〇八六）二九七―五五八二

備前鋼業有限会社

代表取締役 藤井研一

〒七〇一―四二二四
瀬戸内市邑久町本庄八一―一二
電話（〇八六九）二四―一五九二

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇一〇九四三
岡山市南区新福二一七―二〇
電話 (〇八六) 二六五一―一二三四

株式会社西日本マックス

代表取締役 松田 淳子

〒七〇二一八〇一
岡山市南区郡三〇〇〇
電話 (〇八六) 二六七―九九五五

泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

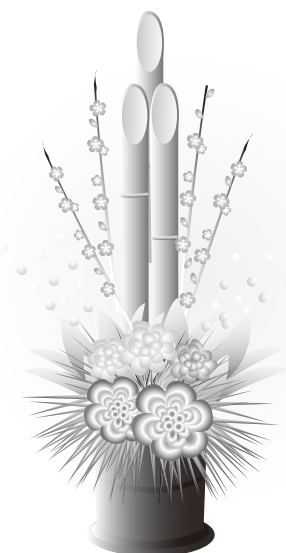
〒七〇二一八〇一三
岡山市南区飽浦二二六
電話 (〇八六) 二六七―五三三三

株式会社岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇一〇八六六
岡山市北区岡南町二一五―七
電話 (〇八六) 二三三―七二三〇

謹賀新年



有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二一八〇三三
岡山市南区福富東二一七―一三
電話 (〇八六) 二六三―二〇一〇

中野開発株式会社

代表取締役 中野 治

〒七〇一一二一四二
岡山市北区玉柏七五
電話 (〇八六) 二二九―二三一六

有限会社岡山清掃

代表取締役 惣市 卓久

〒七〇一一〇二〇二
岡山市南区山田一〇七二
電話 (〇八六) 二八一―〇八九〇

岡山砒油株式会社

代表取締役 山本 誠

〒七〇二一八〇四五
岡山市南区海岸通二一三一六
電話 (〇八六) 二六四―六八六六

公協産業株式会社

代表取締役 小川大志

〒七〇九一〇六二六
岡山市東区中尾一二六一四
電話(〇八六)二七八一九七七〇

有限会社中田商店

代表取締役 中田義一

〒七〇一〇一四一
岡山市北区白石東新町三一一一八
電話(〇八六)二五二一九二二

小野建設株式会社

代表取締役 小野勝己

〒七〇一〇二〇五
岡山市北区佐山一三六四一三
電話(〇八六)二八四一七一六一

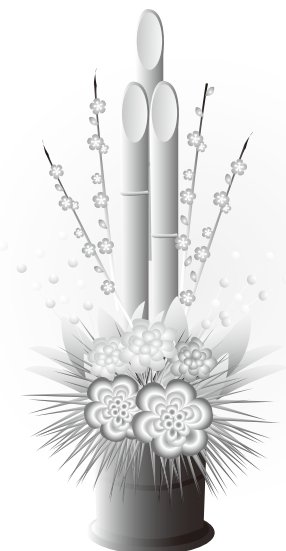
株式会社西日本アチユー

マツトクリーン

代表取締役 藏本忠男

〒七〇三二八二四五
岡山市中区藤原五〇一一
電話(〇八六)二七二一八〇四二

謹賀新年



株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田口睦青

〒七〇一〇二二三
岡山市南区中畦一一一八一三
電話(〇八六)二九八一三二二五

有限会社豊田建運

代表取締役 豊田眞爾

〒七〇九一〇七〇四
赤磐市沢原一五五二
電話(〇八六)九九五一〇〇〇一

有限会社吉備環境設備

〒七〇一〇一六五

岡山市北区大内田一三六七一一
電話(〇八六)二九三一〇五二四

有限会社吉美

〒七〇一〇一六五

岡山市北区大内田一三六七一一
電話(〇八六)二九三一〇五二

水島エコワークス株式会社

代表取締役 岸田修一

〒七二一八〇七四
倉敷市水島川崎通一―一四―五
電話(〇八六) 四四七―三二五五

JFE環境株式会社

倉敷営業所長 今井秀行

〒七二一八〇〇六
倉敷市連島町鶴新田二二七七―一
電話(〇八六) 四四七―〇〇八一

横山商事株式会社

代表取締役 横山忠彦

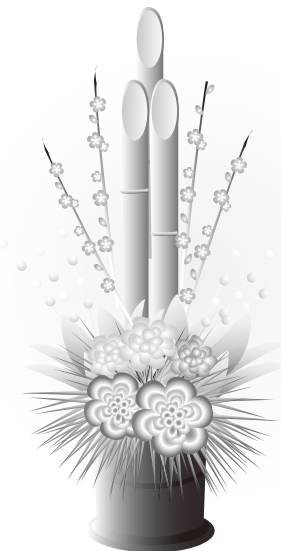
〒七〇一三三〇二
備前市日生町寒河二五五九
電話(〇八六九) 七二―一三〇一

株式会社美建ビルサービス

代表取締役 小林建雄

〒七一〇一〇一六
倉敷市中庄二二四八―四
電話(〇八六) 四六三―一三五一

謹賀新年



クラレテクノ株式会社

倉敷営業所

代表取締役 石坂和彦

〒七一三八五五〇
倉敷市玉島乙島七四七一
電話(〇八六) 五二五―三三二八

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷耕治

〒七二一〇九三六
倉敷市児島柳田町二三二六―四
電話(〇八六) 四七三―三六二四

株式会社サンヨー・ファイル

代表取締役 山田英基

〒七二三八二二二
倉敷市玉島阿賀崎一五七五―一
電話(〇八六) 五二二―二五七二

協同組合

倉敷市環境保全協会

理事長 岡井美幸

〒七二〇〇〇三八
倉敷市新田二三三二―一八
電話(〇八六) 四二三―七三七一

内田工業株式会社

代表取締役 内田 航

〒七二一八〇五二

倉敷市松江三二一四六

電話（〇八六）四五六一五八八八

株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本敬三

〒七二一八〇五一

倉敷市中畝九一二一三七

電話（〇八六）四五六一三四二一

前田道路株式会社中国支店

倉敷合材工場

工場長 土屋 聡

〒七二一八〇二五

倉敷市連島町矢柄五三七一

電話（〇八六）四四八―三二五一

株式会社佐能松山園

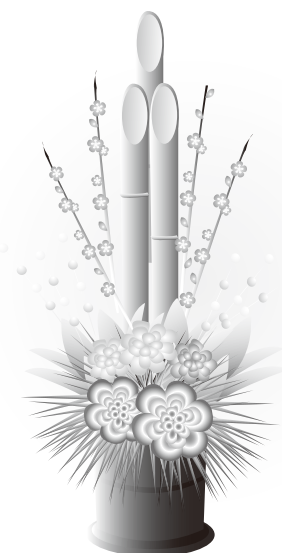
代表取締役 松本孝之

〒七一五〇〇二二

井原市下出部町五一三一―二

電話（〇八六六）六二―〇八八五

謹賀新年



坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川晃一

〒七一四一四〇五

井原市美星町字戸一〇五五

電話（〇八六六）八七―二六二六

山陽環境開発株式会社

代表取締役 岩元 博

〒七一八一〇〇三

新見市高尾二三〇四―一

電話（〇八六七）七二―五四一五

山陽興産株式会社

代表取締役 大本修身

〒七一六一〇〇四五

高梁市中原町一五四二―一六

電話（〇八六六）二二―一〇三五

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾芳訓

〒七一六一〇二〇三

高梁市川上町三沢四三四二―二

電話（〇八六六）四八―二八七八

中国防災工業株式会社

代表取締役 原田明彦

〒七〇八一〇三二七

苫田郡鏡野町土居二四九一

電話 (〇八六八) 五四一〇一三六

株式会社岡勝

代表取締役 佐藤照恵

〒七〇八一〇八五一

津山市新田一九三一四

電話 (〇八六八) 二六一四四三二

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口芳美

〒七〇八一一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原字火の谷一〇八〇

電話 (〇八六八) 六二一二七七五

末沢建設株式会社

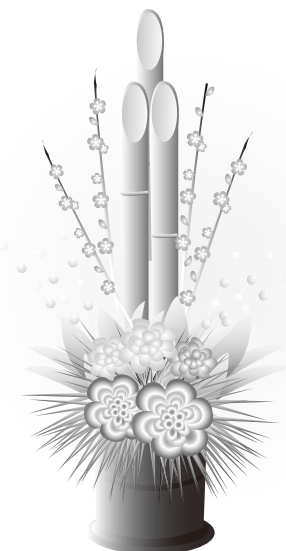
代表取締役 末澤由博

〒七〇八一二二二六

津山市押入二二二九一七

電話 (〇八六八) 二六一二一七三

謹賀新年



坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九一三六三三

久米郡久米南町山手六四五

電話 (〇八六七) 二八一二八一

有限会社久米産業

代表取締役 有本英輔

〒七〇八一一五三四

久米郡美咲町藤原四六八一七

電話 (〇八六八) 六二一二二七五

株式会社ユアツク

代表取締役 赤本裕

〒七〇八一一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原三九三一二

電話 (〇八六八) 六二一一五〇〇

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原淳

〒七〇八一〇〇二三

津山市二宮八七〇

電話 (〇八六八) 二八一二〇五一



解体工事

金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、
皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般
製鋼原料・非鉄金属原料
産業廃棄物処理
東京製鐵㈱指定産場店

安田産業株式会社

代表取締役 安田 祐男

本社 〒702-8030 岡山市南区三浜町1-1-18

TEL086-263-3061 FAX086-263-3029

岡山・倉敷の“地域活性化”を目指して、 全国へ地元の逸品を届けています。



岡山の逸品をネットでお届け

倉敷本舗

<http://www.kurashikihonpo.com/>

ぼっけうさぎ

検索

[運営会社] 株式会社玉島活版所
〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂 2095-11
info@kurashikihonpo.com

商品掲載のご希望は 086-552-9494 倉敷本舗うさぎ店長までご依頼ください。





HINASE

high native service



環境にやさしい
経営をしています

- ☆海陸運輸倉庫業(保冷、危険物、薬品) ☆港湾荷役通関業
- ☆冷蔵輸送 ☆保税蔵置 ☆通運業 ☆エコ・リサイクル輸送
- ☆液体輸送 ☆生命・損害保険代理業 ☆乗合路線バス
- ☆貸切バス事業(福祉バス)
- ☆乗用旅客(福祉タクシー、紺色ハイヤー)
- ☆国内・海外旅行業(JTB特定パートナー店)



日生運輸株式会社

備前市伊里中588-1
TEL.0869-67-2555

備前バス

備前市伊里中578-1
TEL.0869-67-1555

Group Company

備前トラベルハイヤー 日生トーム 日生運輸(有) 備前観光サービス
備前トラベル保険サービス ヒナセカーサービス 明星エンタープライズ

解体・伐採木の処分・真砂土・おろし真砂土の販売等 各種取り扱っております

(株)三好組

土木・建築工事



- ❖ 中間処理業
(がれき・鉱さい・ガラス陶磁器)
- ❖ 産業廃棄物最終処分業
(がれき)
- ❖ 真砂土・再生砕石販売
- ❖ 不動産業

三好組グループ

株式会社 三好組

本社 / 小田郡矢掛町中 170
TEL / 0866-82-0522
FAX / 0866-82-2646

株式会社 アースクリエイト

本社 / 小田郡矢掛町中 170
TEL / 0866-82-3031
FAX / 0866-82-3400



(株)アースクリエイト

解体工事・木くずリサイクル



- ❖ 解体業
- ❖ 産業廃棄物収集運搬業
- ❖ 中間処理業
(木くず・紙くず・腐プラ・繊維くず)
- ❖ ダンプ・クレーン事業
- ❖ 山砂・おろし真砂土販売

宝島建設トランスポートグループ



倉敷西ビル店 TEL/086-427-3312
倉敷市阿知 1-7-2 くらしきシティプラザ西ビル 2F

加須山店 TEL/086-429-2984
倉敷市加須山 190-1 バイパス 2 号線沿い

福山店 TEL/084-922-6562
福山市伏見町 4-25 オンリービル 1F

廣大七輪で食べる朝鮮ホルモン!



福山駅前酒場 TEL/084-926-2450
福山市伏見町 4-25 オンリービル 1F



リサイクルショップ
VECTOR
ベクトル

豊沖店 TEL/086-441-7765
倉敷市豊沖 1240-3 ザ・ビッグ倉敷店南



倉敷店 TEL/086-434-0512
倉敷市豊沖 1240-3 ザ・ビッグ倉敷店南

循環型社会に貢献する企業

廃棄物収集運搬（一廃・産廃・特管）
処理処分から、少ない資源の有価物の再利用
一般貨物自動車運送事業・緑化事業までのご提案



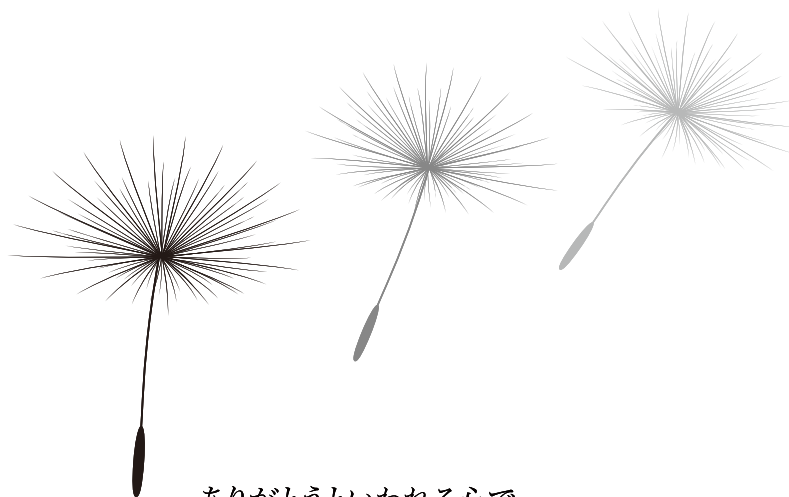
優良産廃処理業者認定

山陽美業株式会社

代表取締役 室山 宣英

〒710-0826 本社 / 倉敷市老松町二丁目 13 番 30 号
TEL086-434-3500 FAX086-422-1331
〒710-0007 倉敷事業所 / 倉敷市浅原 276 番地
TEL086-422-9113 FAX086-422-3833
URL <http://www.sanyobigyō.jp>

“物流”のその先へ



ありがとうといわれる心で

KOWAN

コワン 株式会社

〒705-0022 岡山県備前市東片上50-1

TEL 0869-64-3331 FAX 0869-64-3221



グループ会社の業務内容

・(株)平松運輸

- *産業廃棄物収集運搬業
- *コンクリート二次製品輸送
- *自動車部品輸送
- *物流代行サービス（倉庫作業等）
- *特定信書便事業
- *就労に関するコンサルタント業務（発達障害を含む障害者などを中心に）
- *生コンクリート輸送
- *弱電関係製品輸送
- *生鮮食品輸送
- *特定派遣事業

・(有)ヒラマツ・プロダクト

- ◆油化プラント（低温熱分解式樹脂洗浄炉）
 - ◆太陽光エネルギープロジェクト（大賀デッケン発電所稼働 H23.11.29）
 - ◆石けん製品、黒砂糖、塩、有機無農薬米の販売
 - ◆BM技術（良質堆肥）を使った自然農法による野菜果実の生産、販売
 およびその生産技術の指導と普及など（土の心 水の心）
- 平成25年7月現在

地球資源を大切に一フジミツからの提案

リサイクルプラント

緑と環境を
大切にする

フ・ジ・ミ・ツ・の
産廃処理
システム

一般土木／井原市上下水道指定工事店
家屋解体工事／岡山県工コ製品認定店
産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理業

有限会社 藤充建設工業

本 社：井原市井原町 3557-29

TEL.(0866)62-0712 FAX.(0866)62-0302

処分場：井原市芳井町宇戸川 2030

TEL.(0866)72-1530 FAX.(0866)62-5545

リサイクル製品ストック販売場：高梁市成羽町佐々木

Brilliant Future

求めているのは、お客様の「安心」「信頼」そして「満足」。

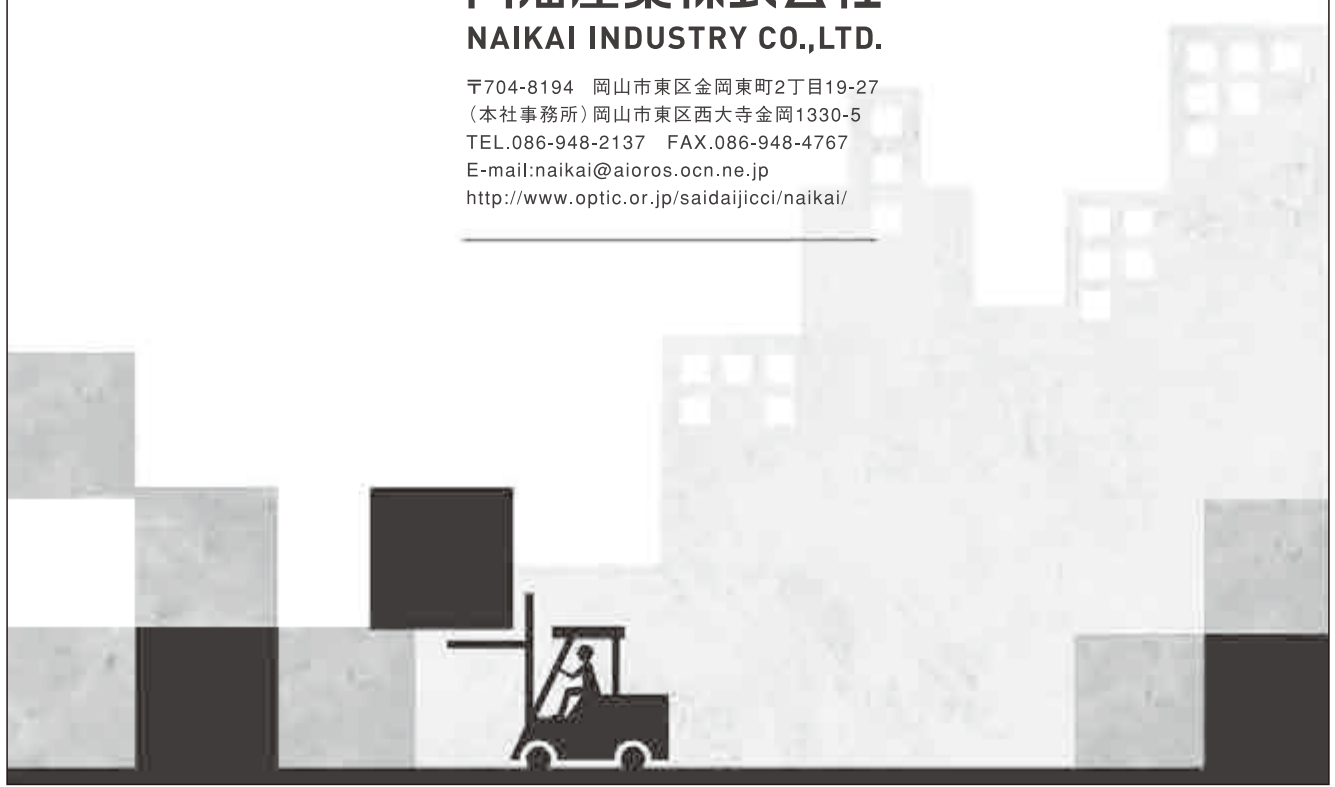
長年にわたって培ってきた「技術」と「ノウハウ」で地域社会に貢献します。



地 域 社 会 に 貢 献 す る

内海産業株式会社
NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.

〒704-8194 岡山市東区金岡東町2丁目19-27
(本社事務所) 岡山市東区西大寺金岡1330-5
TEL.086-948-2137 FAX.086-948-4767
E-mail:naikai@aioros.ocn.ne.jp
<http://www.optic.or.jp/saidaijicci/naikai/>



緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業 保険代理業



タマタイ産業株式会社

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25

TEL(086)224-3291FAX(086)223-6354

URL <http://www.tamatai.com>

E-mail tamatai@po4.oninet.ne.jp

金川工場 〒709-3234 岡山市北区御津下田450

TEL(086)724-0115FAX(086)724-2694

E-mail tamakana@citrus.ocn.ne.jp

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田1425

TEL(086)722-3865FAX(086)722-3459

E-mail tamatake@po5.oninet.ne.jp

グループ企業



ライフオス株式会社

本社〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25

TEL(086)224-3217FAX(086)224-3310

木材事業

上月工業 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷201-36

TEL(0790)87-0208FAX(0790)87-0225

松永工場 〒729-0105 広島県福山市南松永町4丁目7-50

TEL(084)933-5592FAX(084)933-5593

岡山チップセンター 〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6-1

TEL(086)264-2158FAX(086)264-2170

ガス事業

玉野営業所 〒706-0141 玉野市槌ヶ原1289

TEL(0863)71-0133FAX(0863)71-0134

東岡山工場 〒703-8214 岡山市東区鉄145

TEL(086)279-0149FAX(086)279-5971



住宅展示場

プレステージ城東 センターハウス
〒703-8222 岡山県岡山市中区下126-1
TEL(086)279-8844FAX(086)279-8845

DOWA

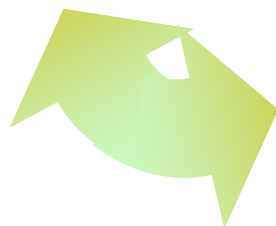
DOWAグループは、あらゆる産業廃棄物の処理を通じて、
地域社会と持続可能な社会に貢献します



エコシステムジャパン



岡山磁油



エコシステム山陽

エコシステムジャパン株式会社

【営業窓口・収集運搬】

〒708-1523

岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2

TEL:0868-62-1341 FAX:0868-62-1330

岡山磁油株式会社

【産業廃棄物中間処理・
再生油販売・セメント資源化】

〒702-8045

岡山県岡山市南区海岸通2丁目6-13

TEL:086-264-6866 FAX:086-264-6867

エコシステム山陽株式会社

【産業廃棄物・特別管理産業廃棄物・微量PCB汚染廃電気機器等中間処理】

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125 TEL: 0868-62-1346 FAX: 0868-62-1345



新日野レンジャー(GVW12t超)

 新日野プロフィア
(大型トラック)

日野は、空気に本気。

これからの環境時代に応える、新クリーンディーゼル[エア ループ]はじまる。

クリアな地球環境を守りたい。日野自動車は時代に先駆けた環境対応を、トラック・バスの進化を通じて実現してきました。そして今、時代はまさに環境がテーマ。

トラック・バス業界では、世界最高水準の排出ガス規制「[※]ポスト新長期排出ガス規制」がスタート。

新クリーンディーゼル[エア ループ]は、この厳しい基準もクリア。

日野は[エア ループ]搭載車を、これから続々と展開。

多くの方々に選ばれ広がっていけば、地球環境はきっとより良いものになる。きれいな空気を守りたい。

新時代の環境性能に、ご期待ください。 ※平成21年排出ガス規制

[エア ループ]基本コンセプト

目指したのは 「きれいな空気の循環」

エンジンで使った空気を、きれいなまま自然に返すことを目標にした画期的新技術。

NOx (窒素酸化物) 低減	PM (粒子状物質) 低減	CO₂ (二酸化炭素) 低減
-----------------------------	----------------------------	----------------------------------------

くわしくは